

## 誰でも取り組める STEP①のための指導案

- 1 単 元 夢をカタチに「自分の夢を友達とカタチにしていこう」
- 2 本時の学習指導（1／1）
  - ・友達の意見を基に夢をカタチにするためのアイデアの多様性を知るとともに、自分の夢をカタチにしようというアイデアのづくりの方向性をもつことができる。
- 3 学習過程

	学 習 活 動	指導上の留意事項
つ か む	1 活動の概要を知り、本時の学習課題をつかむ。 (1) 夢は実現できることを知る。  (2) 「夢をカタチに」の意味を理解する。 夢=目的 →→± …困っていることを解消したい →→++…今あることをもっとよくしたい カタチ=アイテム  (3) 思い付いたアイデアを発表する。  (4) 本時の学習課題をつかむ。 夢をカタチに 自分の夢を友達とカタチにしていこう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50年前のアニメ「スーパージェッター」の腕時計型携帯電話を画像で知らせ、いろいろな夢が現実化していることを知らせる。</li> <li>・教師が考えた夢とカタチについて具体例を挙げて伝える。</li> <li>・スーパージェッターにおいては、「夢=いつでもどこでも通信したいという思い」「カタチ=腕時計型携帯電話」であることに気付かせる。</li> <li>・夢がカタチになることは、便利なこと、楽しいことであることに気付かせ、創造するための意欲化を図る。</li> <li>・自ら考えた夢やカタチを思い付いたまま発表させる。</li> <li>・個々のアイデアを認めることで、「どんな夢でも実現の可能性があること」に気付かせる。</li> <li>・「Honda子どもアイデアコンテスト」のリーフレットを配布し、コンテストの趣旨を伝える。</li> <li>・「夢でもカタチでも」、「絵でも文でも」、思い付いたことをにリーフレット①②に自由に記すようにさせる。</li> <li>・教師は机間指導をし、個々のアイデアを認めるとともに、次の活動の指名計画を立てる。</li> <li>・児童2，3名を指名し、アイデアを学年全体に伝えさせる。</li> <li>・リーフレットを見せながら発表するように促す。</li> <li>・夢がより広がり、カタチがより具体化するよう、教師が補助発問をすることで発表の支援をもする。</li> <li>・聞き手には、アイデアの「いいところ」や「アドバイスしたいところ」などを考えながら聞くように指導する。</li> <li>・聞き手に、アイデアの「いいところ」や「アドバイスしたいところ」を発表させる。</li> <li>・聞き手が発表者にアドバイスする活動により、次の「三人一組でアイデアを伝え合う」活動手順を理解させるようにする。</li> <li>・予め編制した三人で組になる。</li> <li>・友達のアドバイスは、自らのアイデアをより豊かにさせることに気付かせる。</li> <li>・友達からの意見をリーフレット①②の余白に記させるようにする。</li> <li>・さらに思い付いたアイデアを加筆させるようにする。</li> <li>・教師は机間指導をし、一人一人の思いを聞くことで創造力を活性化させるようにする。</li> </ul>
10	2 一人でアイデアを考える。  3 考えたアイデアを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「夢でもカタチでも」、「絵でも文でも」、思い付いたことをにリーフレット①②に自由に記すようにさせる。</li> <li>・教師は机間指導をし、個々のアイデアを認めるとともに、次の活動の指名計画を立てる。</li> <li>・児童2，3名を指名し、アイデアを学年全体に伝えさせる。</li> <li>・リーフレットを見せながら発表するように促す。</li> <li>・夢がより広がり、カタチがより具体化するよう、教師が補助発問をすることで発表の支援をもする。</li> <li>・聞き手には、アイデアの「いいところ」や「アドバイスしたいところ」などを考えながら聞くように指導する。</li> <li>・聞き手に、アイデアの「いいところ」や「アドバイスしたいところ」を発表させる。</li> <li>・聞き手が発表者にアドバイスする活動により、次の「三人一組でアイデアを伝え合う」活動手順を理解させるようにする。</li> <li>・予め編制した三人で組になる。</li> <li>・友達のアドバイスは、自らのアイデアをより豊かにさせることに気付かせる。</li> <li>・友達からの意見をリーフレット①②の余白に記させるようにする。</li> <li>・さらに思い付いたアイデアを加筆させるようにする。</li> <li>・教師は机間指導をし、一人一人の思いを聞くことで創造力を活性化させるようにする。</li> </ul>
ひ た る	4 三人一組でアイデアを伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予め編制した三人で組になる。</li> <li>・友達のアドバイスは、自らのアイデアをより豊かにさせることに気付かせる。</li> <li>・友達からの意見をリーフレット①②の余白に記させるようにする。</li> <li>・さらに思い付いたアイデアを加筆させるようにする。</li> <li>・教師は机間指導をし、一人一人の思いを聞くことで創造力を活性化させるようにする。</li> </ul>
20	5 本時を振り返り、活動の感想を述べる。 6 今後の活動を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童2，3名を指名する。</li> <li>・夢をカタチにする楽しさを再認識させる。</li> <li>・用途についても考え、コンテスト用紙を完成させていくように言及する。</li> <li>・今後、授業後や夏休みを活用することを知らせる。</li> </ul>
ま と め る 5	4 本時の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の夢やカタチを文や絵に表している。（リーフレット）</li> </ul>

- 4 本時の評価規準
  - ・自分の夢やカタチを文や絵に表している。

（リーフレット）